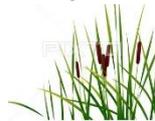


# 苺年 (yoshi)

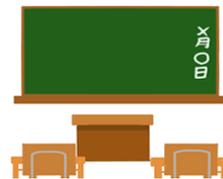
市川市立第七中学校 学校だより  
No.4 令和6年7月12日

学校教育目標

「豊かな心を培い、たくましく生き抜く力を育てる」  
～ 穏やかな教育環境から ～



## 一学期を振り返って



7月19日（金）で1学期が終わり、今年度は少し長い44日間の夏休みに入ります。

今年度も、コロナ禍とは違い、生徒たちの活動を保護者の方々に見ていただく機会を持てたことはよかったですと思います。オープンスクール、体育祭等、生徒たちは人に見られることで自分を客観視することができ、頑張ろうとする姿勢が見られました。今後も開かれた学校を目指します。

さて、1学期を振り返ってみて七中生の良い点と、課題となる点をあげてみます。昨年度からも挙げられている通り、良い点は、挨拶ができる、そしてとても素直で前向きな生徒が多いということです。七中に来校した多くの方々から「挨拶がいいですね」とお褒めの言葉をいただきます。保護者をお願いした学校評価では77%の方が「自分のお子さんが進んで挨拶をしている。」と答えています。しかしこの数値は昨年度のものよりも低下しています。

課題はやはり、自分で調べること、自分から学ぶことが、もう少しできるようになるとよいと思います。学校評価では「家庭学習の習慣が身についている」の回答で肯定的な割合が56%。「わからないことを自ら調べている」の回答は63%でした。日々の生活の中で、疑問に思った事や気になる事柄について、深く掘り下げたり範囲を広げたりすることが、今後の学びにつながります。

夏休みは普段できないことを、積極的に取り組んでください。一回り成長した姿で9月に会えることを楽しみにしています。

## お知らせ 6月末に保護者による「学校評価アンケート」を実施しました。

一人でも多くの方にご意見をいただきたく、回答を繰り返しお願いしたところ、回答率は69%でした。詳細は2学期にお伝えします。

また、いただいたご意見は、職員で共有してまいります。



## 熱中症対策 6月24日（月）より、制服

ではなく体操服・ジャージで登下校してもよいことになりました。今年は早くから猛暑が予報されており、少し早めの体操服・ジャージ登校となりました。9月以降も気候を見て、適切に判断します。夏休み中も、熱中症や脱水症に気を付けて過ごしてください。



# 学校運営協議会

6月14日（金）に第1回目の会議が行われました。

委員長に杉谷様、副委員長に有馬様が選任され、今年度の学校運営方針についての承認や七中に対する意見交換及び情報交換がおこなわれました。

学校運営協議会委員とは地域の学校応援団です。かつての学校評議員とは違い、学校経営方針の承認や教職員の人事に対しての教育委員会に意見の具申などができる非常に強い応援団とも言えます。今後もいただいたご意見を参考にしながら、学校運営を進めてまいります。

令和6年度学校運営協議会委員				
個人情報 の為 省略し ていま す	◎委員長	末広自治会長	○副委員長	地域学校協働活動推進員
	◎委員長	富浜3丁目自治会長	○副委員長	地域学校協働活動推進員
	◎委員長	下新宿自治会長	○副委員長	すえひろ保育園 園長
	◎委員長	学校施設開放委員	○副委員長	本校地域連携主任
	◎委員長	本校PTA会長	○副委員長	本校教頭
	◎委員長	翔裕園 園長	○副委員長	本校校長
	◎委員長	元学校評議員	○副委員長	本校生徒代表

◎委員長 ○副委員長



## 総合体育大会

3年生にとって学校の部活動は負けたら引退というとても厳しい現実があります。ほとんどの競技がトーナメント方式を採用している競技が多く、負けずに引退・終了できる生徒はナンバーワンになるしかありません。日本の部活動がどうしても他国に比べて勝利至上主義になりがちな点や、部活動が地域スポーツになかなか移行できない現実がこのあたりにあるのかもしれませんが。昨今のニュースで部活動設置状況が20%を切る部活動の大会が廃止の方向で進むようです。今後の生徒数の減少、教職員の多忙化などから判断された廃止になる大会の9競技は本校には設置されていませんでした。直接の影響はありませんが、これからの部活動の継続に関しては残る11競技も大会日数や予算が縮小されることが進められています。

学校評価の自由記述の中にも部活動に対する意見は多くありました。部活動時間・大会日程についての要望や顧問教師の指導内容・言葉使いなどが主な内容で、それぞれ教職員とご意見を共有させていただきました。部活動に対する意見の中には今より多く活動しさらなる厳しい指導により、技術の向上を望む意見と、市川市のガイドラインの徹底を望む意見などが混ざり、1つの部活動内でも多様な考え方・要望があって活動している現実があります。部活動においても多様性を認め、人権を大切にする本校の経営重点を大切に運営していく部活動であること、同時に地域との連携・働き方改革も学校として推進していかなければなりません。生徒たちが中学校時代の部活動をたくさんの困難に向かい合いながら、やり遂げた成果・自信がこの7月の総合体育大会で表現・発揮できることを応援しています。 文責 校長



※HPにはタイムリーな学校の様子等がアップされています。  
緊急時の連絡をお伝えすることもあります。HPの登録をお願いします。